

## 2020年 第8号 ご挨拶

中国は新型コロナの拡散防止対策として1月に各地で封鎖を実施し、4月8日には震源地武漢の封鎖も解除しました。既に世界に先駆けて国内経済活動の再開をはじめており、日本をはじめとした諸外国とはコロナ後の経済活動の復旧度合が大きく異なります。そんな中で、中国子会社と日本本社との間での現状認識にも大きな差があると感じています。試行錯誤を繰り返す中で、中国で適合する事業モデルを開発し展開していくことが、中国で成功する重要な要素のひとつです。中国での意思決定を、日本本社が適時に支持してくれることが、ニューノーマルを開始した中国で事業継続していくために重要であると考えます。水際対策も徐々に緩和され、海外から中国への帰任者や新任者が増えてきました。これまで長期間にわたり日本でのリモート業務を強いられていた方々は、早く中国の現場に戻って陣頭指揮を執り、中国事業の強化に取り組んで頂ければと思います。中国はアフターコロナの経済活動を開始した14億人の巨大な市場です。中国事業が日本企業のグローバル事業の大きな支えとなることを心から祈ります。

KPMG 中国 GJP 中国総代表 高部 一郎

## 1. KPMG 2020 CEO Outlook: COVID-19 特別版（エグゼクティブサマリー）

この6ヶ月間で CEO の優先事項が大きく変化したことは、企業がパンデミックの課題に対処するために、猛スピードで事業を転換しなければならなかったことを明確に示しています。この危機により、デジタル・トランスフォーメーションや企業としての社会関与等、すでに実施されていた戦略が大きく加速することになりました。一方、特に将来の働き方や問題解決の方法を考えるなど、将来の計画を立てることは非常に難しくなっています。CEO が将来のビジネスを維持し成長させるための人材の重要性に注目しているのは当然と言えます。COVID-19 の危機は、優れたビジネス・リーダーシップを再定義したと言えます。

- > [全文はこちら](#)（英語）
- > [全文はこちら](#)（中国語）

## 2. Business in a new reality

今後のニューリアリティ下で、事業活動がどうあるべきかについて、サプライチェーン、事務所のインフラ環境、デジタルトランスフォーメーションの3つのトピックに対して、KPMG のグローバルチェアマンの Bill Thomas と KPMG UK のチーフエコノミストである Yeal Selfin がオンラインでディスカッションしました。

- > [全文はこちら](#)（英語）

### 3. 中国の主要消費テクノロジー企業 50 社のレポート

中国のビジネスは「消費配当型」経済から「デジタル革新型」経済へと進化しており、産業生態系はコストと効率の改善から全体の生態系の再形成成長モードへと徐々に進化しています。効率化加速は、消費者インターネットからエコロジーインターネットへ、デジタルトランスフォーメーションからデジタルインテリジェンスのエンパワーメントへと進化してきました。このような背景から、本レポートでは、デジタル端末のタッチポイント、消費オペレーション、デジタルサプライチェーン、デジタルマネジメント、スマートテクノロジーなどの分野に焦点をあて、成長企業の中から、大手消費テクノロジー企業 50 社、新興消費テクノロジー企業 14 社を選定し、KPMG 独自の企業インサイトモデル（SIP）に基づいてレポートを作成しています。

- > [全文はこちら](#)（中国語）
- > [全文はこちら](#)（英語）

### 4. 中国コンビニエンスストア発展レポート 2020

2019 年には、中国のコンビニ業界は、急速な発展を維持し続け、業務効率の面では、大手コンビニエンスストア企業の平均坪あたり売上高は、まだ国際的なリーダー企業とは差があります。会員制とモバイル決済を促進し、会員制システムも一定程度成功していますが、ほとんどのコンビニ企業は、デジタルサプライチェーンの模索とスマートテクノロジーのアプリケーション導入等、デジタルトランスフォーメーションの初期段階にあります。中国の地理的特性もあり、コンビニエンスストアの飽和度は地域によってかなり差があります。今後も経済成長が続き、消費習慣が培われていく中でコンビニ企業にとって、今後の市場拡大に向けた新たなフロンティアとしての Tier2、3 都市への進出強化や、コンビニ業界内での協力的な統合の余地が大きいです。

- > [全文はこちら](#)（中国語）

### 5. サプライチェーンの未来

従来のサプライチェーンは、「インサイド・アウト」のオペレーティングモデルを想定していました。つまり、従前のサプライチェーンマネジメントとは、企業が現在持つ能力に焦点を合わせて業務を効率化し、コストを削減した上で競争することを意味していました。一方、未来のサプライチェーンは、顧客需要の変化に合わせて継続的に適応し、進化する「アウトサイド・イン」のアプローチによって特徴付けられます。それは、製品やプロセス、固定資産や直線的なフローには依存せず、顧客ニーズに大きく左右されるようになり、信頼できるサードパーティーのネットワークを通じて提供され、必要に応じ拡大・縮小や再結合が可能なモジュール機能のエコシステムに依存するようになるでしょう。

- > [全文はこちら](#)（日本語）
- > [全文はこちら](#)（英語）

### 6. Future of HR 2020

人事部門は、組織での存在意義をどのように証明したら、戦略的価値をもたらすことができるでしょうか。どうすれば変化し続ける従業員の要望に応えることができ、そして、どのようにテクノロジーを活用すれば、従業員のニーズとモチベーションを正しく理解することができるのでしょうか。本調査の中で「先進的な人事部門」は、4 つの異なる能力に焦点を合わせ、ディスラプションによって変革された世界の中で未来の進むべき道を定めようとしています。①将来の構成員を構築する能力、②目的主導の企業風土を醸成する能力、③社員を消費者目線と同じ基準で考えた EX（エンployee・エクスペリエンス）をデザインする能力、④そしてそのすべてをエビデンスやデータに基づくインサイトを使用して実現する能力です。

- > [全文はこちら](#)（日本語）
- > [全文はこちら](#)（英語）

## <ご参考> 新型コロナウイルス対応に関する情報提供

こちらのサイトに関連情報を掲載しております。

- 携手战“疫”（中国語） [資料はこちら](#)
- Business Continuity Insights（英語） [資料はこちら](#)
- 新型コロナウイルスがビジネスに与える影響（KPMG ジャパンサイト） [資料はこちら](#)

Wechat でも日々情報発信をしておりますので、是非ご登録頂けると幸いです。



## Contact us お問い合わせ先

GJP China Markets: [gjpmarkets.china@kpmg.com](mailto:gjpmarkets.china@kpmg.com)

Tel: [+86 \(21\) 2212 2247](tel:+862122122247)（日本語）